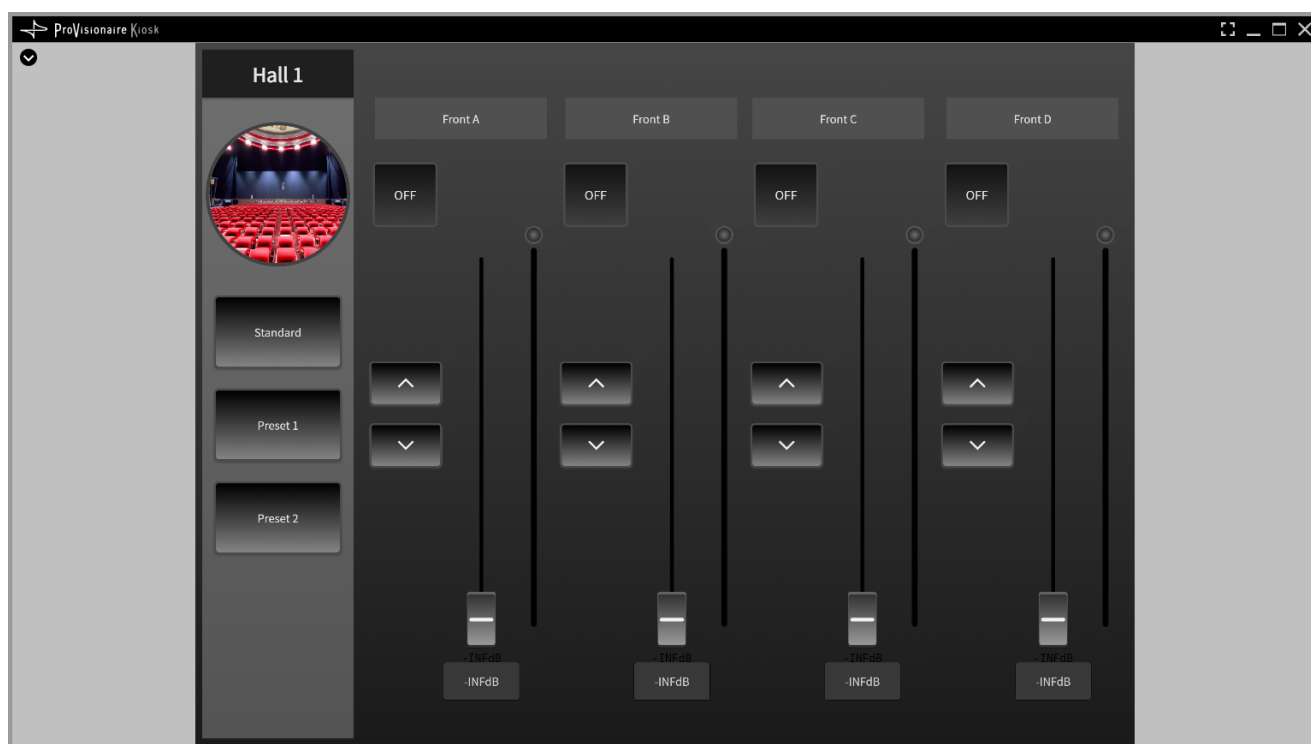


# ProVisionaire Kiosk

V1.0 ユーザーガイド



---

# 目次

1. はじめに	2
1.1. ご注意	2
1.2. ProVisionaire Kioskでできること	3
2. ソフトウェアの動作環境	4
2.1. iOS/iPadOS	4
2.2. Windows	4
3. インストールの手順	5
3.1. iOS/iPadOS	5
3.2. Windows	5
4. 接続	6
4.1. iOS/iPadOS	6
4.1.1. Wi-Fiアクセスポイントの設定	6
4.1.2. 操作対象機器への接続	6
4.2. Windows	10
4.2.1. 操作対象機器への接続	10
5. 起動	12
5.1. iOS/iPadOS	12
5.2. Windows	12
5.2.1. Kioskを自動起動させる	13
6. タイトルバー	14
7. 「Setup」ダイアログ	15
7.1. Networkタブ(Windowsのみ)	15
7.2. Securityタブ	16
7.3. Logタブ	19
8. 設定ファイルの管理(ファイルマネージメントボタン)	20
8.1. iOS/iPadOS	20
8.2. Windows	22
9. 困ったときは	23

# 1. はじめに

このたびは、ヤマハProVisionaire Kiosk(プロビジョナーキオスク)をダウンロードいただき、ありがとうございます。

ProVisionaire Kioskは、DME7、RM-CR、RM-CG、DM7、DM3、MusicCast対応機器などの機器をリモートコントロールするためのアプリケーションです。

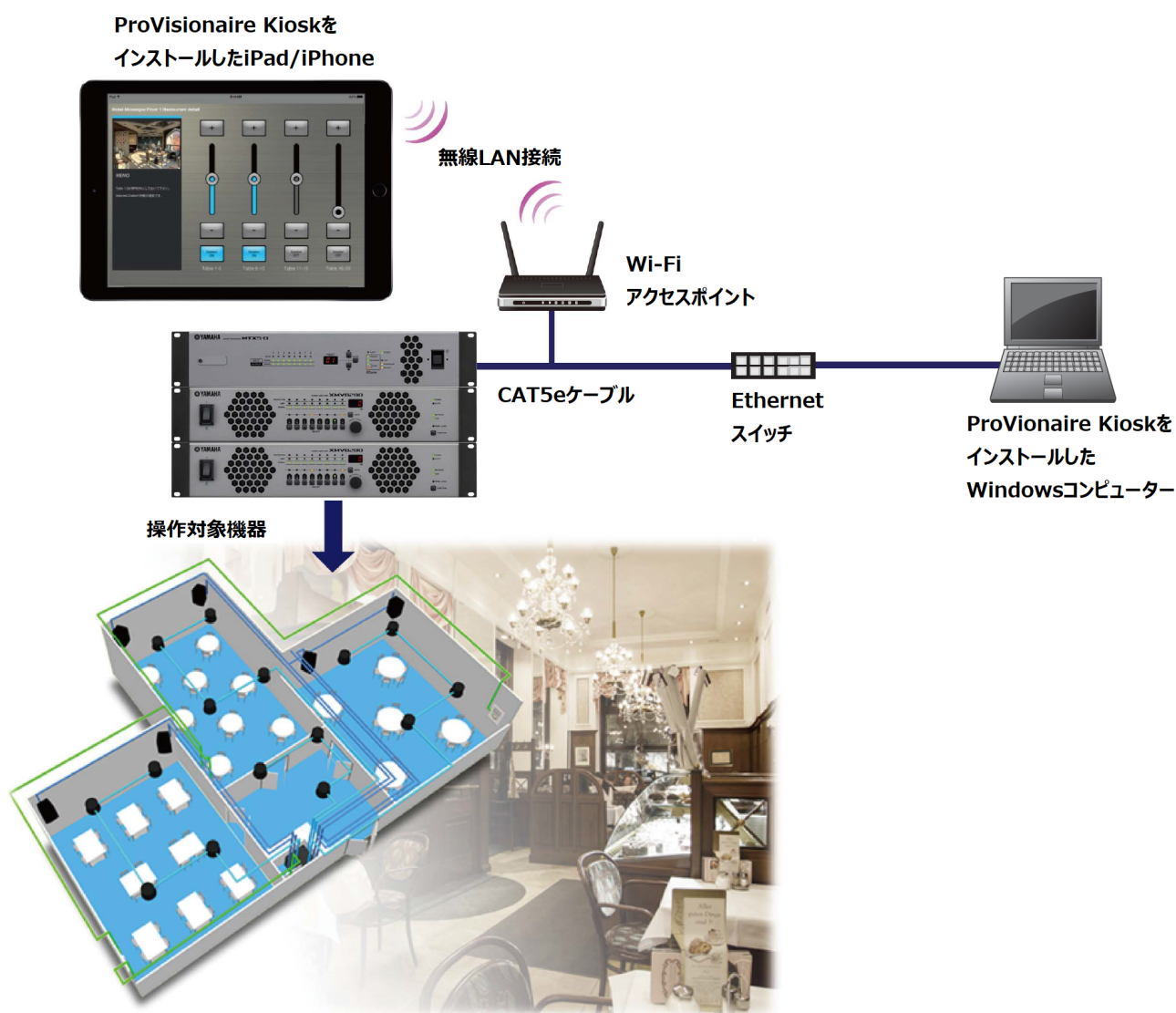
ProVisionaire Kioskは、WindowsコンピューターまたはiPad、iPhoneで動作します。

## 1.1. ご注意

- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このユーザーガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ iPad、iPhone、AirDropは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ App StoreおよびiTunesは、米国その他の国や地域で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 商用目的で音源を使う場合、著作権にご注意ください。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- ・ 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、ヤマハプロオーディオサイトからダウンロードできます。  
<https://www.yamahaproaudio.com/>

## 1.2. ProVisionaire Kioskでできること

- ProVisionaire Control PLUSでデザインしたコントローラーファイル(拡張子.pvksk)をロードして機器をコントロールします。コントローラーファイルは、ProVisionaire Kiosk (Windows版)とProVisionaire Kiosk (iOS/iPadOS版)の両方でロードできます。
- 複数のページ(複数のボタンやスライダーなどの操作子で構成される画面)を有し、用途によって使い分けることができます。1枚のページに複数の機器の操作子を配置できます。
- Power User、Administrator、Screen Lockの3つのアクセス制限を設定できます。詳細は、「ProVisionaire Control PLUSユーザーガイド」を参照してください。
- 任意の機器(Monitor Device)のプリセットリコールにより表示するページを切り替えることができます。詳細は、「ProVisionaire Control PLUSユーザーガイド」を参照してください。



## 2. ソフトウェアの動作環境

### 2.1. iOS/iPadOS

- ・ ハードウェア：iOS/iPadOS17.0以降が動作するApple社製iPhone/iPad  
最新の動作確認済みデバイスとOSバージョンの情報は、下記のウェブサイトにてご確認ください。  
<https://www.yamahaproaudio.com/>
- ・ Wi-Fiアクセスポイント(802.11n/5GHz推奨)
- ・ CAT5eケーブル(操作対象機器～Wi-Fiアクセスポイント間接続用)

### 2.2. Windows

- ・ OS : Windows 11 / Windows 10(64bit)
- ・ メモリー： 4 GB以上
- ・ ハードディスク： 1.1 GB以上
- ・ Ethernet (1000BASE-T以上)またはWi-Fi搭載
- ・ System Monitor Widgetを使用する場合、DirectXのバージョンが10.0以上

## 3. インストールの手順

### 3.1. iOS/iPadOS

App Storeから、“ProVisionaire Kiosk”をダウンロードします。

ヤマハプロオーディオサイトのProVisionaire製品ページにリンクがあります。

<https://www.yamahaproaudio.com/>



P.V. Kiosk

### 3.2. Windows

“ProVisionaire Kiosk”をダウンロードします。

ヤマハプロオーディオサイトのProVisionaire製品ページにリンクがあります。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

ガイドに従ってProVisionaire Kiosk(Install\_PVKiosk.exe)をインストールします。

#### NOTE

ProVisionaire Control PLUSをインストールするとProVisionaire Kioskも同時にインストールされます。

## 4. 接続

### 4.1. iOS/iPadOS

#### 4.1.1. Wi-Fiアクセスポイントの設定

各機器の取扱説明書に従って、Wi-Fiアクセスポイントを設定してください。  
特別な設定は必要ありませんが、外部からネットワークへの侵入を防ぐためにWPAのようなセキュリティをかけていただくことをおすすめします。

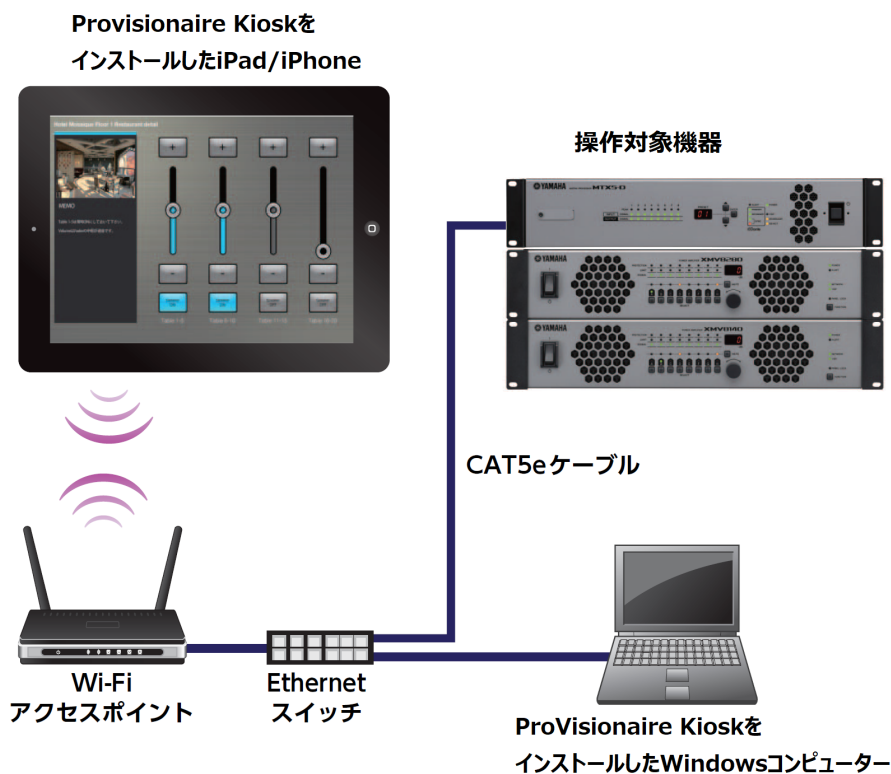
以下を参考に設定してください。

1. Wi-Fiネットワークで名称を設定します。
2. セキュリティモード（例：WPA2）とパスワードを設定します。
3. ワイヤレスモードを選択します(802.11nや802.11gなど)。
4. 可能であれば「Auto Channel Selection」を有効にしてください。

干渉が最小限におさえられたワイヤレスチャンネルが選択されます。  
iPad/iPhoneとWi-Fiアクセスポイント間をより高速で通信するためには802.11nのネットワークを選択することをおすすめします。また、外部アンテナを複数使用すると、Wi-Fiアクセスポイントに接続しやすくなります。さらに、セキュリティ強化のために、ステルスモードやMACアドレスフィルタリングの設定をおすすめします。

#### 4.1.2. 操作対象機器への接続

CAT5eケーブルを使って、操作対象機器とWi-Fiアクセスポイントを接続します。  
必要に応じて、Ethernetスイッチを挿入します。



## ■ 操作対象機器のネットワーク設定例

### 1. 各機器のIPアドレスを設定します。

設定方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。

以下、例として機器のIPアドレスを192.168.0.1と仮定します。

複数の操作対象機器がある場合、各機器のIPアドレスが重複しないように設定してください。

### 2. Wi-FiアクセスポイントのIPアドレスを変更します。

Wi-Fiアクセスポイントを機器と同じネットワーク（サブネット）に設定します。

操作対象機器のIPアドレスと重複しないように設定してください。

コンピューターをWi-Fiアクセスポイントに接続して、コンピューターのWebブラウザから変更します。変更方法の詳細はWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

機器に接続できるProVisionaire Kioskの最大数は、機器ごとに異なります。

各機器の取扱説明書を参照してください。

## ● iPadのネットワーク設定例

### 1. iPadのホーム画面で[設定]→[Wi-Fi]をタップします。

### 2. [Wi-Fi]のスイッチをOn(●)にし、表示されるアクセスポイントリストから操作対象システムのアクセスポイントを選択します。

### 3. [Wi-Fi]アクセスポイントのパスワードを入力します。

### 4. ネットワークの設定をします。

## ● IPアドレスを自動で取得する場合

### 1. ⓘをタップして、[IPを構成]を[自動]にします。



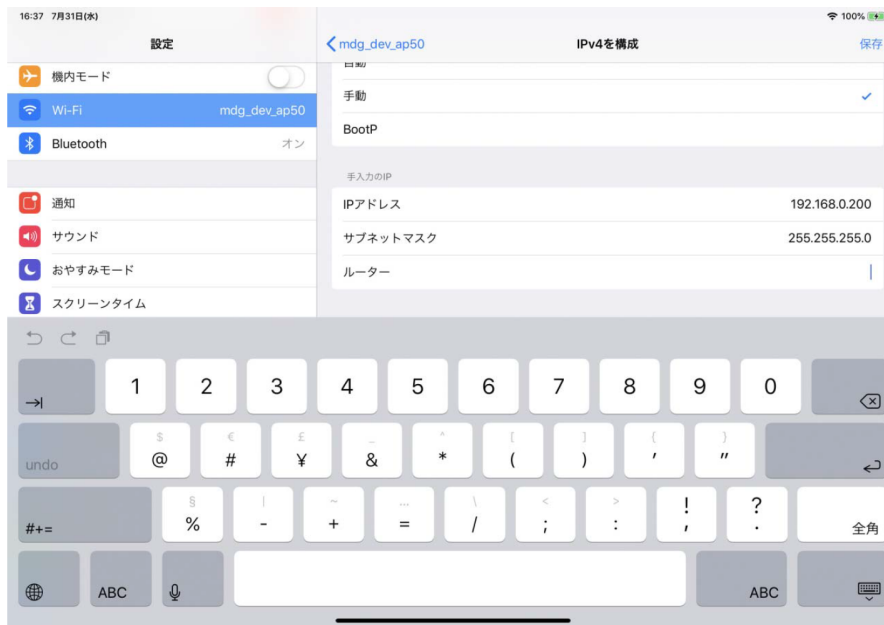
### 2. 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ルーター」、「DNS」が設定されていることを確認します。

### 3. ホームボタンをクリックして設定を終了します。



## ●IPアドレスを手動で設定する場合(自動で取得できない場合)

1. ⓘをタップして、[IPを構成]を[手動]にします。



2. 「IPアドレス」に操作対象システムのIPアドレスの第4オクテット(上図の場合は「200」)のみを変えたIPアドレスを入力します。
3. 「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力します。
4. 「ルーター」にルーターのIPアドレスまたはWi-FiアクセスポイントのIPアドレスを入力します。
5. 「DNS」にDNSのIPアドレスまたはWi-FiアクセスポイントのIPアドレスを入力します。
6. ホームボタンをクリックして設定を終了します。

## ●ネットワーク設定のポイント

1. 接続する機器のIPアドレスを同じサブネットワークに設定します。

-	正しい設定の組み合わせ例	間違った設定の組み合わせ例
Wi-Fiアクセスポイント機器 内蔵のルーター及びDNS*1	192.168.0.254	192.168. <b>11</b> .1
操作対象システム	192.168.0.1	192.168.0.1
iPad	192.168.0.200	192.168. <b>11</b> .50
コンピューター	192.168.0.253	192.168. <b>11</b> .253

\*1 ルーター機能を持たないWi-Fiアクセスポイント機器の場合は、Wi-Fiアクセスポイント機器へのアクセス用IPアドレスを設定してください。

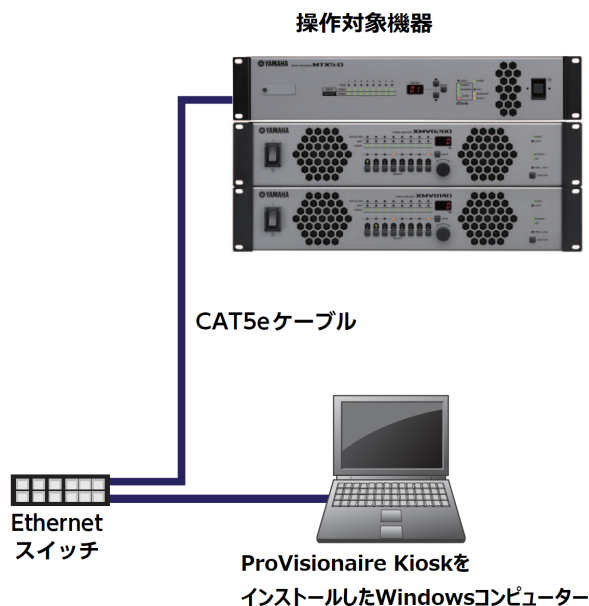
2. **操作対象機器はWi-FiアクセスポイントのLAN端子に接続してください。**  
インターネット接続端子(WAN端子)に接続すると、スマートデバイスと操作対象システムの間で正しく通信できません。
3. **Provisionaire Kioskを起動してください。**  
Provisionaire Kioskが対象機器を検索し、自動的につながります。

ProVisionaire Kioskと機器が接続されると、オンラインインジケータが緑色に点灯します。

## 4.2. Windows

### 4.2.1. 操作対象機器への接続

Cat5eケーブルを使って、操作対象機器をスイッチに接続します。



### ■ 操作対象機器のネットワーク設定例

1. 各機器のIPアドレスを設定します。  
設定方法は、各機器の取り扱い説明書を参照してください。  
複数の操作対象機器がある場合、各機器のIPアドレスが重複しないように設定してください。
2. コンピューターのIPアドレスを機器と同じネットワーク（サブネット）に設定します。  
操作対象機器のIPアドレスと重複しないように設定してください。
3. コンピューターとすべての操作対象機器をスイッチに接続します。

機器に接続できるProVisionaire Kioskの最大数は、機器ごとに異なります。  
各機器の取扱説明書を参照してください。

### ■ ProVisionaire Kioskのネットワーク設定



1. タイトルバーの[Setup]ボタン  をクリックし、**Networkタブ**を開きます。

2. 機器が接続されているネットワークのNetwork Cardを選択します。  
[OK]ボタンをクリックして確定します。

**NOTE**

ネットワークカードは最大8個まで選択できます。複数のネットワークカードを使用する場合には、それぞれのネットワークアドレスが独立している必要があります。

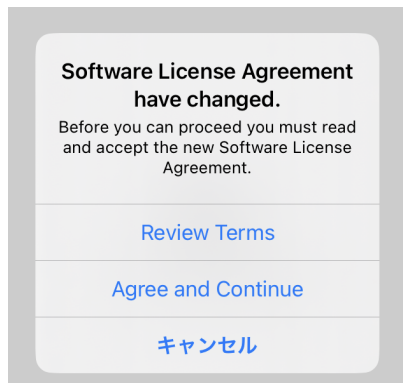
機器との接続に成功すると、オンラインインジケータが緑色に点灯します。

## 5. 起動

### 5.1. iOS/iPadOS

1. “ProVisionaire Kiosk”アイコンをタップします。

初回起動時には、Software License Agreement（ソフトウェア使用許諾契約）の画面が表示されます。



2. 使用許諾の内容を表示する場合は[Review Terms]、同意する場合は「Agree and Continue」、同意しない場合は[Cancel]をタップします。

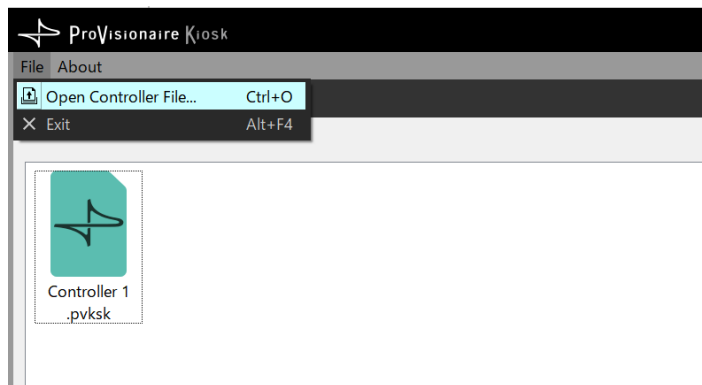
\*同意後は、次回起動時にこの画面は表示されません。

ProVisionaire Kioskのブラウザ画面が表示されます。

3. ブラウズ画面を表示した状態で、ProVisionaire Control PLUSの「Export Controller File」ダイアログからコントローラーファイルをKioskへ送信します。  
詳細は、「ProVisionaire Control PLUSユーザーガイド」の「Export Controller File」ダイアログを参照ください。
4. ファイルをタップしてロードします。

### 5.2. Windows

1. コンピューターのスタートメニューからProVisionaire Kioskを起動します。  
Initial画面が表示されます。
2. [File]メニュー → [Open Controller File]からコントローラーファイルをロードします。



## 5.2.1. Kioskを自動起動させる

操作端末のWindowsが起動したときに、自動的にKioskが起動して特定のコントローラーファイル(拡張子.pvksk)が開くようにしましょう。

### 1. 以下のフォルダーにコントローラーファイルを置きます。

C:\Users\xxxx\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Startup

xxxxはコンピューターにログインするときのユーザー名です。

フォルダー名は各言語に翻訳されて表示される場合があります。

エクスプローラーでAppDataフォルダーが表示されない場合は、アドレスバーに直接フォルダ名を入力してください。

### 2. コンピューターを再起動します。

ログインするとKioskが起動し、コントローラーファイルが開きます。

初回は「Setup」ダイアログが開きますので、コントロール対象の機器と同じネットワークにつなげるインターフェースを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。

## 6. タイトルバー

### iOS/iPadOS



### Windows



#### ① 表示切り替えボタン

🏠 アイコンをクリックすると、設定変更などのボタンが表示されます。🏠 アイコンをクリックすると閉じます。

#### ② [Fullscreen]ボタン (Windowsのみ)

Kioskの表示をフルスクリーンにします。フルスクリーンを解除するときは、<Esc>キーを押してください。

#### ③ ファイルマネージメントボタン

ファイルを一覧表示します。

#### ④ ファイル名

開いているファイル名を表示します。

#### ⑤ [Page List]ボタン

ページリストを表示します。選択したページに遷移します。

#### ⑥ [Device Info]ボタン

コントローラーファイルに登録されている機器の情報を表示します。

#### ⑦ オンラインインジケータ All Devices are OFFLINE

コントローラーファイルに登録されている機器がオンラインになっているかどうかを表示します。

アイコン緑： コントローラーファイルに登録されているすべての機器がオンラインになっています。

アイコン黄： コントローラーファイルに登録されている一部の機器がオンラインになっています。

アイコン赤： コントローラーファイルに登録されている機器が発見できているのにオンラインになっていません。

アイコン灰： オンラインの機器がありません。

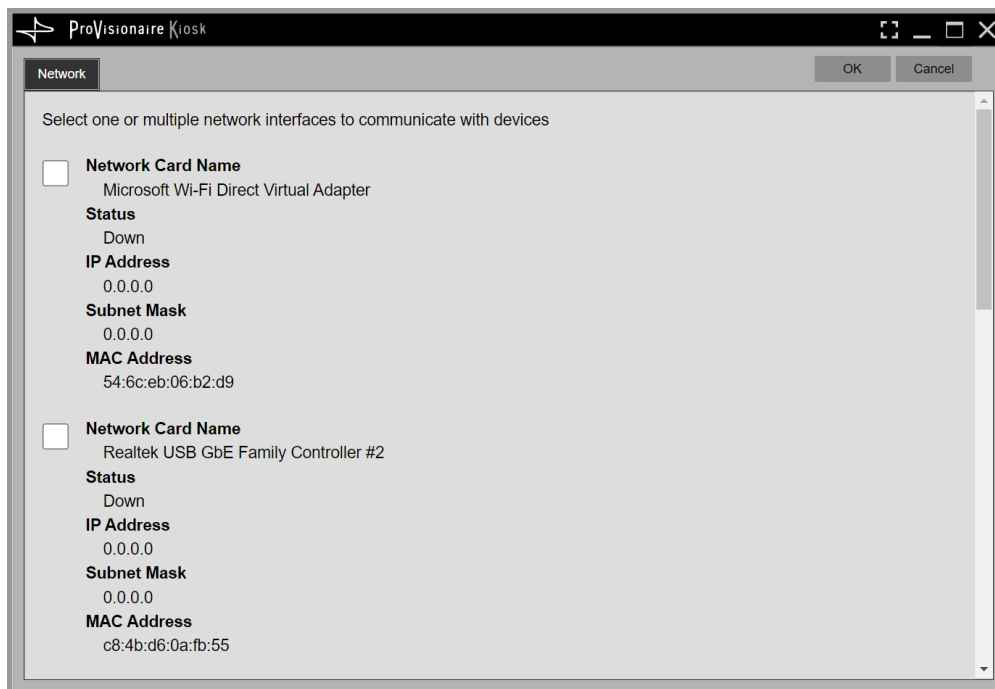
#### ⑧ [Setup]ボタン

「Setup」ダイアログを開きます。

## 7. 「Setup」ダイアログ

タイトルバーの[Setup]ボタンをクリックすると開きます。

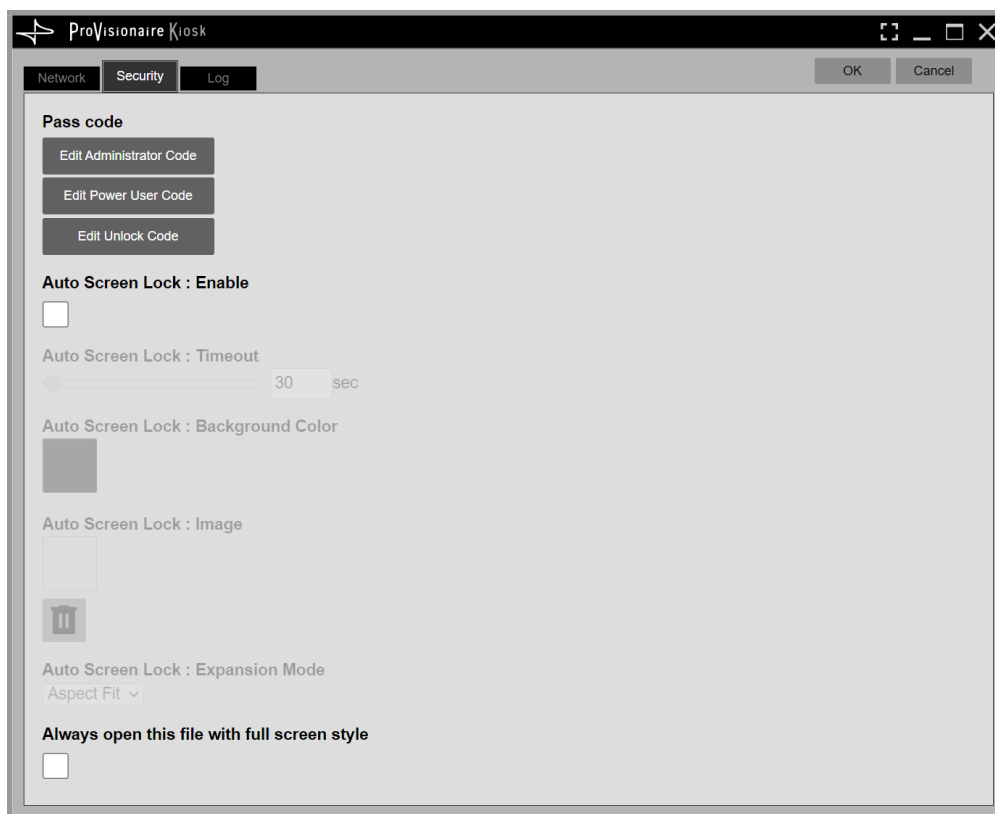
### 7.1. Networkタブ(Windowsのみ)



機器が接続されているネットワークのインターフェースカードを選択してください。  
[OK]ボタンを押すと変更を確定します。



## 7.2. Securityタブ



### Pass Code

- **Edit Administrator Code**

Administratorコードを変更します。

コントローラファイルをPower Userで開いた場合は、表示されません。

- **Edit Power User Code**

Power Userコードを変更します。

- **Edit Unlock Code**

Unlockコードを変更します。

### NOTE

ProVisionaire Kioskでは以下のロール(役割)があります。

- **Administrator(管理者)**

コントロールパネルを設計/編集する人(主に施工会社の方)。Provisionaire Control PLUSでセットアップを行う人です。機能制限解除をするためのAdministrator Code(4桁)を知っています。

- **Power User(パワーユーザー)**

設備の音響責任者など。アクセス制限をかけたページへの移動や、設定ファイルの変更をするためのPower User Code(4桁)を知っています。

- **Staff(スタッフ)**

パラメーターを操作する人。スクリーンロックを解除するためのUnlock Code(4桁)を知っています。

- **Guest(ゲスト)**

訪問客など操作権限がない人。

各ロールでできることは以下となります。

	Administrator	Power User	Staff	Guest
スクリーンロック解除	-	-	✓	-
パラメーター操作	✓	✓	✓	-
コントローラーファイルの変更	✓	✓	-	-
デザインの変更	✓	-	-	-

## Auto Screen Lock

- **Auto Screen Lock : Enable**

チェックすると最後の操作からTime Outで指定した時間が経過すると画面がロックされます。

- **Auto Screen Lock : Back Color**

ロック中の画面の色を指定します。

- **Auto Screen Lock : Image**

ロック中の画面に表示する画像を指定します。

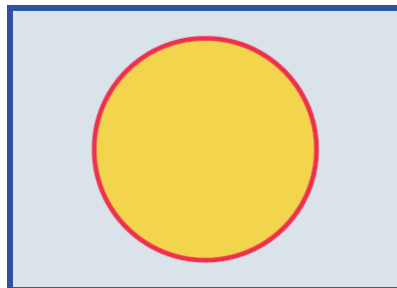
ゴミ箱アイコンをクリックすると選択した画像ファイルを削除します。

- **Auto Screen Lock : Expansion Mode**

「Properties」エリアの[Image]の下に[Image Expansion Mode]がある場合や「Setup」ダイアログの[Security]タブに[Expansion Mode]があります。この項目では表示領域へのイメージの配置方法を選択します。

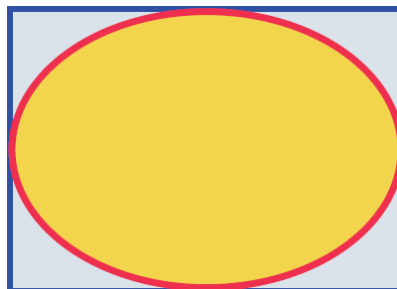
- **None**

イメージを拡大縮小せず、表示領域中央に配置



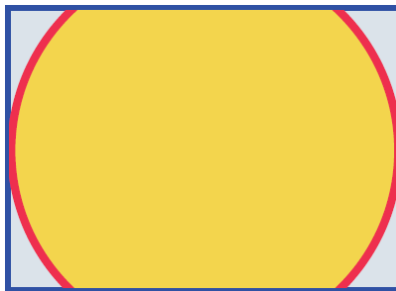
- **Full**

イメージの縦横比を無視して、高さ、幅ともに表示領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



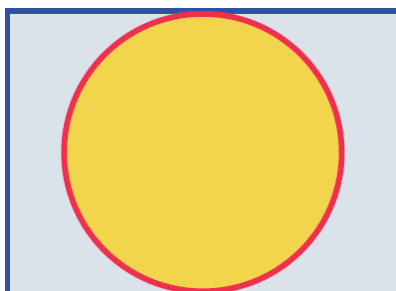
- **Aspect Fill**

イメージの縦横比を保ったまま、可能な限り表示領域を空白なく埋めるように、イメージを拡大縮小して表示



° **Aspect Fit**

イメージの縦横比を保ったまま、表示領域に画像全体が収まる最大サイズに拡大縮小して表示



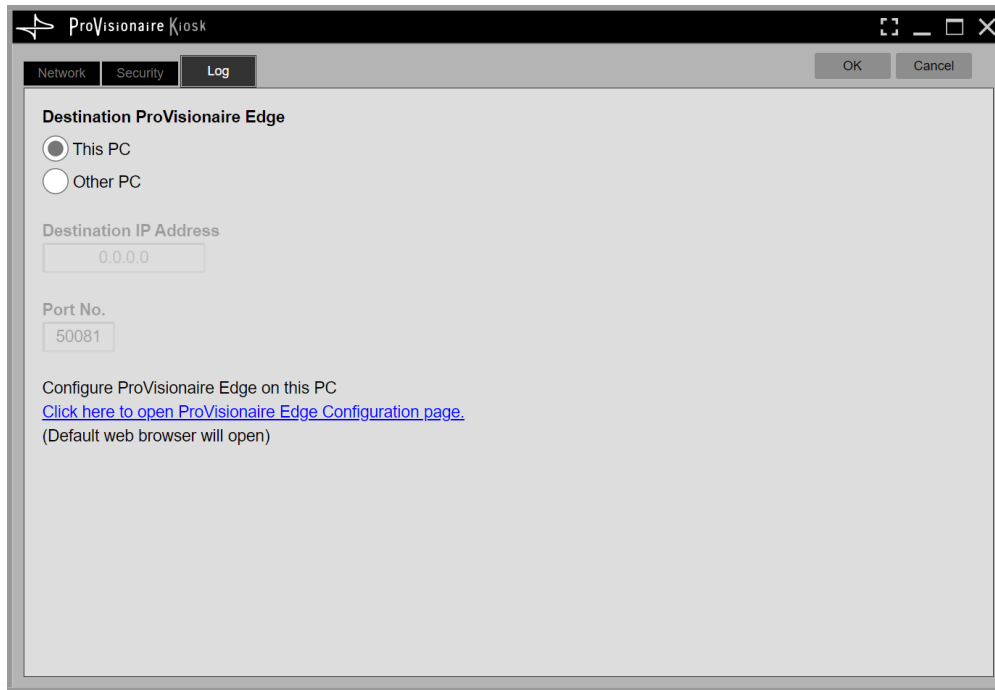
° **Scaling**

ウィジェットに対する画像の縮小率を設定できます。100%を選択すると、画像を領域いっぱいに表示します。

**Always open this file with full screen(Windowsのみ)**

チェックするとファイルを起動したときにフルスクリーン表示します。


## 7.3. Logタブ



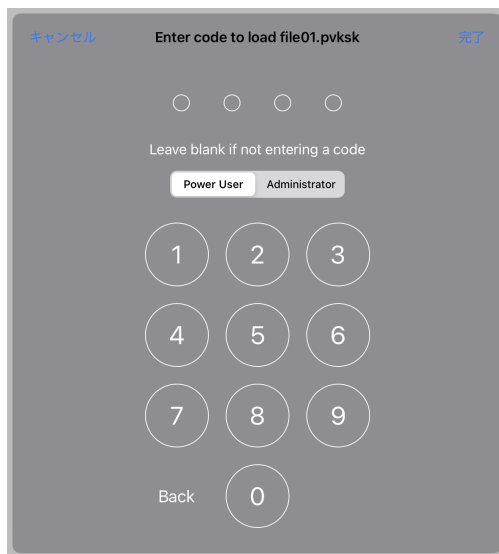
- **Destination ProVisionaire Edge**  
System Monitorウィジェットに表示するProVisionaire Edgeの情報取得先を指定します。  
“This PC”は、Windowsのみとなります。
- **Click here to open ProVisionaire Edge Configuration page.**  
クリックするとKIOSKを起動しているコンピューターにインストールされているProVisionaire EdgeのSetting画面を開きます。

## 8. 設定ファイルの管理(ファイルマネージメントボタン)

### 8.1. iOS/iPadOS

タイトルバーのファイルマネージメントボタン、またはProVisionaire KIOSKのアイコンをタップするとProVisionaire Control PLUSで作成したコントロールファイル(拡張子 .pvksk)を一覧表示から選択できます。

ファイルアイコンをタップすると、ファイルが開きます。  
ファイルを読み込む際、パワーユーザー(Power User)コードもしくは管理者(Administrator)コードでの認証画面が表示されます。



ファイルアイコンをロングタップすると、ファイルのコンテキストメニューが表示されます。コンテキストメニューを使って設定ファイルのコピー、複製、移動、削除、共有などを行います。




- **情報を見る**  
選択した設定ファイルのプロパティが開きます。
- **名称変更**  
選択した設定ファイル名を変更します。
- **複製**  
選択した設定ファイルを複製します。[複製]をタップすると、選択ファイル名の末尾に“ 1”が追加されたファイル名で複製されたファイルができます。  
\*同名ファイルが存在する場合は“ 2”、“ 3”…と自動的に数字が増えます。
- **1項目がある新規フォルダ**  
新しいフォルダを作成し、選択したファイルを格納します。
- **タグ**  
選択した設定ファイル名の左側に選択したタグを表示します。
- **1項目をコピー**  
選択した設定ファイルをコピーバッファにコピーします。  
貼り付ける場合は、ブラウザのファイルなどが無いところをロングタップして[ペースト]を実行してください。  
\*同名ファイルが存在する場合は“ 2”、“ 3”…と自動的に数字が増えます。
- **移動**  
選択した設定ファイルを移動します。[移動]をタップすると移動のダイアログが表示され、移動先を選択したあと、右上の[移動]をタップすることで選択した移動先に設定ファイルが移動します。
- **共有**  
選択した設定ファイルを別のコンピューターやタブレットなどに渡す機能です。
  - **AirDropの場合：**  
[AirDrop]アイコンをタップすると、iOSのAirDrop機能が働き、宛先リストが表示されます。目的の宛先を選び送信します。  
受信側で本アプリケーションを開くアプリに指定します。受信ファイルはDocumentsフォルダに保存されます。  
\*AirDropに対応していないiOS端末は宛先一覧に表示されません。
  - **メールの場合：**  
[メール]アイコンをタップすると、メールアプリが立ち上がり、選択したファイルを添付した新規メールがセットアップされます。目的の送信先へメールを送信します。  
メール受信側が本アプリケーションをインストールしている場合は、受信ファイルをタップし本アプリケーションを開くアプリに指定します。受信ファイルはDocumentsフォルダに保存されます。
  - **File Transferの場合：**  
[File Transfer]をタップすると、同一ネットワークに接続されている宛先リストが表示されます。目的の宛先を選び送信します。
- **コメント**  
選択した設定ファイルに対するコメントを表示します。
- コメントの入力/編集は設定ファイルを開いてインフォメーションボタンの[About File]メニューの[Comment]で行います。
- **削除**  
選択した設定ファイルを削除します。

### AirDrop(エアードロップ)

AirDrop対応機器間ではアクセスポイントを経由せずにiPad 同士の直接の通信(P2P)でデータを共有できます。

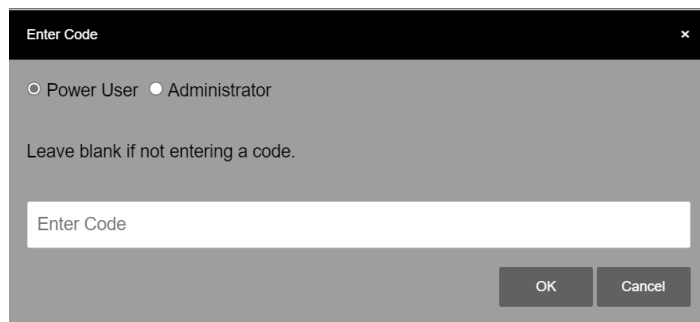
## 8.2. Windows

タイトルバーのファイルマネージメントボタン、またはProVisionaire KIOSKを起動するとProVisionaire Control PLUSで作成したコントロールファイル(拡張子 .pvksk)を一覧表示から選択できます。

ファイルアイコンをダブルクリックするとファイルが開きます。

もしくはファイルを選択してLoadボタンをクリックするとファイルが開きます。

ファイルをロードするとパワーユーザー(Power User)コードもしくは管理者(Administrator)コードでの認証画面が表示されます。

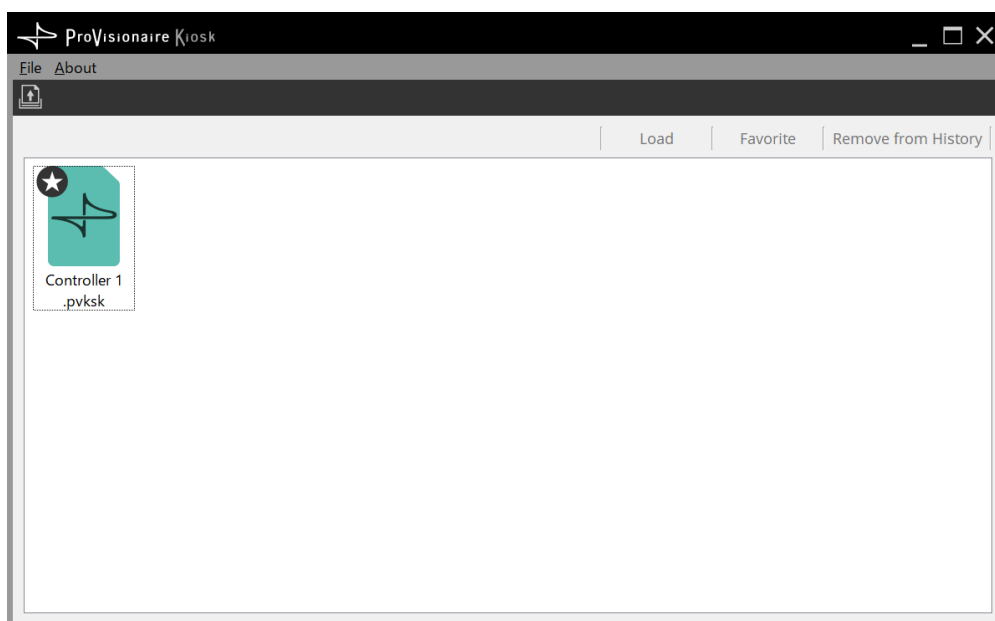


The image shows a dialog box titled "Enter Code" with a close button (X) in the top right corner. It contains two radio buttons: "Power User" (unselected) and "Administrator" (selected). Below the radio buttons is the text "Leave blank if not entering a code." and a text input field with the placeholder "Enter Code". At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

ファイルを選択して[Favorite]をクリックすると★のアイコンが表示されます。お気に入りとして登録するときにお使いください。再度[Favorite]をクリックすると登録を解除できます。

ファイルを選択して、[Remove from History]をクリックするとファイルを削除することができます。

★のアイコンがついたファイルは削除できません。



## 9. 困ったときは

症状	原因	対応
操作対象システムと通信できない。	Wi-Fiの設定が間違っている。	操作対象システムのネットワークにつながっているアクセスポイントに適した設定をしてください。
「インターネットに接続できない」というメッセージがiPhone/iPad画面に現れて、ProVisionaire Kioskが操作対象機器に接続できない。	Wi-Fiネットワークの選択時にインターネットへのアクセスを試みる場合があるため。	Wi-Fi機器(アクセスポイント/ルーター)を適切に設定することにより、このメッセージが出ないようにする必要があります。Wi-Fi機器の設定変更の方法は、「リダイレクト機能」を無効にするなどがありますが、詳細は機器メーカーにお問い合わせください。
4つ以上のウィジェットを同時に操作できない。	マルチタスク用ジェスチャがオンに設定されている。	iPadを使用する場合は、マルチタスク用ジェスチャをオフに設定しておくことをおすすめします。 1. iPadで[設定]をタップします。 2. [マルチタスクとジェスチャ]>[オフ]に設定します。
3つ以上のウィジェットを同時に操作できない。	アクセシビリティ機能内のズーム機能がオンに設定されている。	iPadを使用する場合は、ズーム機能をオフに設定しておくことをおすすめします。 1. iPadで[設定]をタップします。 2. [アクセシビリティ]>[ズーム機能]>[オフ]に設定します。
メモリーが足りないという旨のダイアログが出る。	写真やPDFなどでアプリケーション内でメモリーが圧迫された。	使用する画像を削除するなどしてメモリーを削減してください。無視して写真などを追加するとアプリケーションがダウンする原因となります。
1台のXMV/EXi8/EXo8に8台のiPadを接続できない。	XMV/EXi8/EXo8に同時につながる8台のセッションのうち1セッションはMTX/MRXとXMV/EXi8/EXo8の間で通信するのに使用している。そのため、外部制御機器は最大で7台までしかつながらない。	XMV/EXi8/EXo8を制御するiPadを7台までにしてください。
NXAMPmk2がコントロールできない。	NXAMPmk2のUNIT IDが0になっている。	コントロールするNXAMPmk2のUNIT IDを0以外にしてください。
トラックリストで何も表示されない。	アサインされている機器がネットワークに接続されていない。	アサインされている機器をネットワークに接続してください。
機器のIPアドレスの設定方法がわからない。	—	機器またはネットワークを通じて操作するアプリケーションの取扱説明書をお読みください。



